

公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 部分公開 ☐ 非公開
----------	--

※「5 議題、内容及び結果」における記号の説明

「○」…委員の発言

「◎」…委員の質問に対する事務局の回答

第8回「西部清掃工場更新」における

浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和6年11月6日 14時00分から15時00分
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第5委員会室
- 3 出席状況
- 出席委員 山口 直也 教授（青山学院大学大学院）
荒井 喜久雄 （前）（技術指導部長）
（（社）全国都市清掃会議）
佐古 猛 特任教授（静岡大学創造科学技術大学院）
高平 めぐみ 弁護士（静岡県弁護士会）
花嶋 温子 准教授（大阪産業大学）
袴田 智久 本部長（カーボンニュートラル推進本部）
山田 英二 部長（環境部）
欠席委員 鈴木 秀司 部長（財務部）
事務局 （環境部廃棄物処理施設課）
平口課長、平田専門監（課長補佐）、徳田主幹
松下副技監、長岡主任、横井、岡田
アドバイザー （パシフィックコンサルタンツ株式会社）
長谷川、篠木、中山、田中

- 4 傍聴者 非公開の為、0人

5 議題、内容及び結果

議題1 事業の経過報告について

（意見）

なし

（質疑応答）

なし

議題 2 基礎審査結果の報告について

(意見)

なし

(質疑応答)

- 応募のあった 2 グループともに基礎審査は通過したものとし、今後の審査は 2 グループで実施するという理解でよいのか。
- ◎ご理解のとおり。

議題 3 提案内容調書について

(意見)

- 桐グループへの質問・回答書に、副生成物の資源化において、天竜清掃工場を除く 4 社で実施した場合の二酸化炭素排出量を確認する内容を追加して欲しい。
- 桐グループへの AI 活用提案について、事業者が変わった場合、学習の継続という課題がある。
- 両グループにおいて、水泳場や浜松科学館等の第三者との連携に関する提案がなされているが、相手方との調整状況を確認する内容を質問・回答書に追加して欲しい。
- 両グループにおいて、本社との連携に伴うデータの蓄積等に対する提案がなされているが、引継ぎ後の対応を確認する内容を質問・回答書に追加して欲しい。

(質疑応答)

- ごみ質等の提案書に示される数値は保証された数値なのか。
- ◎提案書も契約書類の一部となるため、保証値として評価いただきたい。
- 桐グループの副生成物の資源化は、天竜清掃工場を除く 4 社で実施可能ということか。
- ◎条件付きで可能との回答を基礎審査で確認している。
- 梅グループも天竜清掃工場とは連携していくという理解でよいのか。
- ◎天竜清掃工場は市の施設であるため、市が必要と判断したときには、当然、連携していく。

○桐グループの提案書からは 30 年以上の稼働が読み切れないが、想定されていないのか。

◎要求水準書において 30 年以上利用していく施設としているため、考慮されているものと考えている。

○更新工場の次期運営事業者は、どの時期に検討するのか。

◎要求水準書において 15 年目で引継ぎ条件の協議開始としてるため、その頃には検討していく予定である。

○梅グループの地域への貢献で、運営期間 13 億円と、地元雇用金額 25 億円と記載があるが、これは最終的に合計 38 億円の運営期間中の地元貢献額という理解でよいか。

◎ご理解のとおり。

議題 4 今後の進め方について

(意見)

なし

(質疑応答)

○ヒアリングの実施方法について、全委員が質問できるように、順番に質問する方法もあるが、今回はどのような方法か。

◎自由に質問する方法で予定している。

審議の結果

議題 3 提案内容調書について、本委員会の上承を得た。

6 会議資料の名称 審査委員名簿

事業の経過報告について

基礎審査結果の報告について

審査内容調書

第 9 回委員会の進め方

参考資料（基礎審査に関する質問回答書、提案内容に関する質問）

7 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音

8 会議録署名人 山口 直也
荒井 喜久雄